

平成22年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書

(平成22年度事業対象)

平成23年12月

能美市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成20年4月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、平成22年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター教授浅野秀重氏にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めていきます。

平成23年12月

能美市教育委員会

目 次

1 事務の点検評価

施策1 学校教育の充実

- 1 教職員の資質並びに授業力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 豊かな学力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 教育センターの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4 教育環境の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

施策2 青少年の健全育成

- 1 青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

施策3 生涯学習の推進

- 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進・ 7
- 2 生涯学習活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 3 公民館活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 4 社会教育施設の運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

施策4 芸術・文化の振興

- 1 文化財の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 2 博物館の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 3 文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

施策5 生涯スポーツの推進

- 1 競技スポーツの充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 2 生涯スポーツの普及・振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 3 スポーツ施設の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

- (1) 教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

- (2) 平成22年度教育委員会会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

施策1 学校教育の充実

地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成を目指して、豊かな心、確かな学力、たくましい体をバランスよく育む学校教育活動が展開できる教育環境づくりを推進する。また、新学習指導要領の趣旨実現に向け、市制5周年記念事業として夏季教職員研修事業を開催し、学校教育の更なる発展を図る。

1 教職員の資質並びに授業力の向上

平成22年度の主な取組

◇市制5周年記念教職員夏季研修事業（1,684千円）

これまでの外部講師招聘研修事業で培ってきた実践を土台として、これからの能美市の学校教育をさらに発展・創造していくため、市制5周年記念事業として教職員夏季研修事業を企画し教職員の資質並びに授業力の向上に資する。

- *テーマ 授業を創る・学校を創る・未来を創る
教育フォーラム “活” in 能美市
- *日時 平成22年8月26日（木）・27日（金）
- *会場 根上総合文化会館・根上学習センター
- *招聘講師 11名 過去5年間で市内小中学校に指導をしていただいた講師
(文科省教科調査官杉田洋氏ほか筑波大附属小学校教諭等)
- *内容 基調提案、シンポジウム、ワークショップ、公開授業、記念講演
- *運営 学校教育課と市内全校の教務主任、研究主任等による実行委員会
- *参加人数 2日間で延べ約1,400人（市内300人、県内280人、県外120人）
- *参加者アンケートより（大分県：小：30代）

能美市制5周年記念事業で市を挙げて素晴らしい教育フォーラムを開催したことを羨ましく思うとともに、教育の情熱を市全体から感じることができました。筑波小の先生方をはじめ講師の先生方の充実ぶりにも驚くばかりです。しかも道德、特別活動を軸にして教育を展開しようとしている姿勢も素晴らしいと思いました。夏休み最後で2学期に向けて頑張ろうというやる気も出ました。

評価

市制施行5周年を記念するとともに、「能美の教育」のさらなる振興充実を願い実施された夏季研修事業は、市の内外から多数の参加者を得たものと思われます。

日々の地道な教育実践の成果を交流し、よりよい教育実践の創造に向けた、それこそテーマに掲げられているように、授業を創ることが、学校を、未来を創るという意識を持続的に抱きながら、子どもと向き合い、子どもとともに創る教育の展開を望みます。

今後とも、教職員が自己学習や自己研鑽に励み、その成果を日々の実践に結びつけることができ、個人としての資質向上とともに教職員集団としての全体的な力量の形成に努めることができるような環境の醸成に努めてくださることを期待します。

2 豊かな学力の向上

※豊かな学力・・・豊かな心、確かな学力の造語

平成22年度の主な取組

◇視聴覚機器等活用推進事業（6,675千円）

視聴覚機器等を教具として積極的に活用し、授業改善、授業力の向上を図る。3カ年間（H22~24年度）で、計画的に市内全小中学校を視聴覚機器等活用推進モデル校（以下、推進モデル校）に指定し、研究実践する。また推進モデル校は公开发表の機会を通して研究実践を市内に発信し、お互いの活用実践力の向上を図る。

*推進モデル校 H22：浜小・宮竹小・寺井中

H23：寺井小・栗生小・和気小・根上中・辰口中

H24：福岡小・湯野小・辰口中央小

*教具としての視聴覚機器等（H22年度に新規に配備した機器）

- ・42型デジタルテレビ・・・各通常教室、特別支援教室（吊り下げ式）
- ・50型デジタルテレビ・・・各校2台（移動式）
- ・電子黒板・・・各校1台（移動式）
- ・実物投影機・・・全小中学校で計74台（1校6～10台）

*研究実践概要

- ・デジタルテレビと実物投影機等の効果的な活用方法を探り、授業改善を図る。
- ・電子黒板の効果的な活用方法を探り、授業改善を図る。
- ・パソコンの効果的な活用方法を探り、授業改善を図る。
- ・外部講師を招聘して視聴覚機器等の効果的な活用法について積極的に研修し、授業実践力を高める。

*公开发表の機会 能美市小中連携研究会（通称：NOMIばんぶー〇〇地区）

- ・12/2 根上地区：浜小・・・公開研究授業3コマの内ICT使用は2コマ
- ・10/5 寺井地区：寺井中・・・公開研究授業6コマの内ICT使用は6コマ全て
- ・12/8 辰口地区：宮竹小・・・公開研究授業3コマの内ICT使用は2コマ

*能美市内教職員アンケート結果（H23.2実施）より抜粋

- ・「授業で実物投影機を使ったことはありますか。」・・・28%
- ・「授業でDVD及びCD教材を使ったことはありますか。」・・・56%
- ・「授業で電子黒板を使ったことはありますか。」・・・20%

評価

「豊かな心、確かな学力」を統合したのものとして「豊かな学力」という概念を設定しての取り組みですが、心と学力と体を調和的に全体的に豊かに高めるということは大切なことと思われま

す。平成22年度は、その一助として市内の小・中学校に視聴覚機器等の整備を行い、授業内容や授業方法の改善を図り、授業実践力の向上を目指した取り組みがなされました。

視聴覚機器の整備及びその利活用は、ICTへの取り組みが強化されつつある今日、教職員にとっても、また、子どもたちにとっても意義あるものです。

ただ、情報化が時代の趨勢となっても、その情報化の流れに対応し得ないといういわゆる「デジタルデバイド」という状況がないではありません。

情報を共有しながら誰もが気軽に利用でき、豊かな教育実践が展開できるよう、教職員間での研修などの機会における実践の交流、教材（コンテンツ）の蓄積を進め、ライブラリー化に努めるとともに、子ども同士においても交流がなされるような環境の整備に、今後とも取り組まれることを願っています。

◇学校司書配置事業（7, 190千円）

全小中学校に配置されている図書館司書の勤務時間を延長して、市立図書館との連携も含め図書館活動の充実を図る。

*市内小中学校の学校司書配置状況

- ・平成20年度から各校1名全校配置（能美市正規職員3名、臨時職員8名）

*学校司書の主な業務

- ・オリエンテーション（図書室利用指導）、ブックトーク（学校司書や市立図書館司書）、図書だよりの発行（小・中共通）、新刊コーナーの設置（小・中共通）、先生や司書によるおすすめの本の紹介または読み聞かせ、環境整備、本の展示の工夫、週末読書（金曜日に貸出2冊デー）、読書まつりの企画等

*勤務時間 能美市正規職員 7時間45分（現状どおり）

臨時職員 4時間 ⇒ 平成22年度から6時間に増やした

*延長による成果

- ・図書室の開館時間が増え図書室に来る児童生徒、貸し出し冊数も増加した。また、読み聞かせやブックトークなどの活動が充実することで、普段図書室にこない児童生徒にも本の楽しさを知らせることができ効果的である。
- ・学校司書教諭（学校担当）との連携も充実し、蔵書の整理も充実した。
- ・教育活動（教育課程）における読書活動の位置づけがしっかりとしてきた。

*その他

- ・学校図書館図書標準達成率 116%（小中平均）
- ・地方交付税における図書購入費予算化率 105%（小中平均）

評価

学校図書館には、よりいっそう子どもたちに親しまれ、書物が身近な知的財産として感じられる機能を果たす役割があります。学校図書館における本の拡充という、いわば「物的」環境の整備だけではなく、司書（学校図書館司書教諭を含む）の配置による「人的」環境の整備は、子どもの読書活動を強力に進める上での両輪とすることができます。

併せて、読み聞かせやブックトーク等のソフト事業の創意工夫、充実を試みながら子どもの読書環境の整備に取り組まれますよう期待します。

3 教育センターの充実

平成22年度の主な取組

◇スクールソーシャルワーカー活用事業（1,468千円）

スクールソーシャルワーカー（以下 SSW、退職校長）を委嘱し、児童生徒の不登校、いじめ、非行問題、児童虐待、発達障害、心身の健康等に対し、学校内のチームと学校外の関係機関との連携をして問題の解決を図る。

*SSW 拠点地（デスク） 能美市教育センター内

*SSW の職務

- ・校内、市内の諸会合に参加し、情報を収集・整理し、共有する。
- ・当該児童生徒の授業観察等をして記録する。
- ・市教育センターのふれあい教室（通室生）と在籍校との連携を図る。
- ・校内の担当者等と連携して改善策、方向性を協議する。
- ・必要に応じて、関係機関と連携する。
- ・教職員、児童生徒、保護者からの相談にのるなどの援助をする。
- ・必要に応じて、児童生徒、保護者への家庭訪問をする。
- ・市内教職員への情報発信（「SSWだより」の発行：学期に1回）

*連携機関等

- ・市教育センター、警察、児童相談所、能美市福祉課、特別支援学校、民生委員、主任児童委員、スクールカウンセラー ほか

*市内小中学校への定期的な訪問

- ・計画的に訪問 原則として、小学校は月1回、中学校は週1回
- ・ケース会議、教育相談の会、児童理解の会等への出席、児童生徒の実態把握、管理職との懇談、担任・教育相談担当者・SC・養護教諭等からの情報収集等

*SSW が関わった継続事案（SSW が相談を受けた事案、本人・保護者への支援をした事案、関係機関と連携した事案）

- ・事案全体のうち、小学校事案 50%、中学校事案 50%
- ・事案内訳 小) 発達障害 23%、児童虐待 22%、家庭環境 14%、不登校 12%
中) 不登校 41%、心身の健康 20%、家庭環境 14%、友達関係 8%

評価

市では、豊かな教育経験を有し、様々な子どもたちと向き合ってきた退職された校長先生をスクールソーシャルワーカー（SSW）として委嘱し、その先生の知見を生かして、学校や学校外の機関等と連携し、いじめや不登校、学校生活に適応困難な児童・生徒への支援を行うこととしています。

子どもやその保護者に寄り添いながら、経験豊かな退職教員が、現職の教員とともに、様々な問題や課題の解決に取り組み、ひとりでも多くの子どもが、通常の学びを取り戻すことができるよう、この事業が効果を発揮されることを心から願っています。

4 教育環境の整備充実

平成22年度の主な取組

◇浜小学校整備事業（黒板改修工事）	1, 372千円
◇浜小学校受水槽整備事業	8, 920千円
◇浜小学校体育館耐震補強事業	47, 901千円
◇福岡小学校整備事業（給食室整備工事）	1, 595千円
◇福岡小学校防音空調整備事業（実施設計）	5, 794千円
◇寺井小学校整備事業（職員室空調設備取替工事）	956千円
◇寺井小学校プール整備事業	26, 177千円
◇湯野小学校整備事業（給食室ガス給湯器取替工事）	1, 131千円
◇湯野小学校プール整備事業	7, 381千円
◇湯野小学校校舎大規模改造事業	124, 051千円
◇粟生小学校整備事業（視聴覚室・トイレ・運動場周辺改修工事）	11, 444千円
◇粟生小学校講堂耐震補強事業	59, 514千円
◇辰口中央小学校整備事業（グラウンド法面復旧・家庭科室改修工事）	14, 784千円
◇宮竹小学校整備事業（体育館跡地整備・日本語教室改修工事）	3, 257千円
◇和気小学校整備事業（プールろ過機配管改修工事）	656千円
◇根上中学校整備事業（支援教室間仕切り改修・給食室水量調整工事）	4, 504千円
◇寺井中学校整備事業（職員室空調設備取替工事）	2, 965千円
◇寺井中学校講堂耐震補強事業	48, 487千円
◇小中学校グラウンド不陸整正事業	6, 017千円

評価

公の施設としての学校の施設・設備の整備は、直接的、間接的に、教職員の実践や子どもの学習に影響を与えるものです。館（やかた）としての学校は、児童・生徒及び教職員等が安全・安心な状態で学習や教育活動に取り組むとともに、一定時間の暮らしと生活の場であればなりません。今後ともより一層の整備充実、さらには拡充を期待いたします。

なお、ついでながら、今年度の点検及び評価報告書では、括弧書きで、各学校の整備の状況が具体的に記されており、わかりやすい表記となっていました。

施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進する。

1 青少年教育

平成22年度の主な取組

◇ 青少年健全育成事業（５８２千円）

- ・ 各種会議
 - ◇ 青少年問題協議会の開催
 - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
 - ◇ 夏休み期間中及び九谷茶碗まつり、七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
 - ◇ 市内小学校５年生にあいさつ標語を募集
４４８作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（８名） 優秀賞（１０名）】
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示
- ・ 講演会
 - ◇ 青少年健全育成講演会の開催
演題 「豊かなアジア・貧しい日本～心の豊かさを求めて～」
講師 J・A・T・D にしゃんた 氏
- ・ モバイルリテラシー
 - ◇ モバイルリテラシー学習会の開催
内容 講義とワークショップ
講師 小林俊哉教授（富山大学・JAIST非常勤講師、
山田広明氏（JAIST学生）

◇ 心の教育関連事業（１，９０６千円）

- ・ 家庭教育推進事業
 - ◇ 「親子のふれあい」や「青少年の豊かな心を育む家庭教育のあり方」をテーマに取り組んだ計３２団体(保育園、小中学校、子育て関係団体)に対して活動補助
- ・ 地域教育推進事業
 - ◇ 子どもたちを核に「地域のふれあい」や「青少年の健全育成」をテーマに、一年を通して取り組んだ市内７団体に対して活動補助
- ・ ふれあいあいさつデー
 - ◇ 毎月１５日を「あいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
 - ◇ ９月１日(水)～７日(火)を強化週間として平日５日間に開催(延べ約３，０００人が街頭に立つ)
 - ◇ あいさつデー啓発ポスターは根上中学校２年生笹谷奈央さんの作品を採用
- ・ 野外体験
 - ◇ 野遊びキッズキャンプの実施（能美の里山ファン倶楽部と共同開催）

評価

次代を担う青少年を健全に育てることは、彼らよりも先行して生きる大人の役割であるとともに使命です。また、青少年の健全育成は、家庭、学校、地域社会が一体となって推進することが大切であり、そのための事業は、地道ではあっても継続的、系統的な取り組みが重要と思われます。青少年を「次代の担い手」として見つめながら、あいさつ運動、子育て支援、ふれあい活動などを、地域の関係機関や団体がよりいっそう強力・協働して取り組まれることを願います。

施策3 生涯学習の推進

市民一人ひとりの生きがいや心の豊かさを実現するため、学習環境づくりや公民館活動などを核とした連帯と活力ある地域づくりを推進する。

1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進

平成22年度の主な取組

◇国際交流員招致事業（4, 219千円）

国際交流員を招致し、保育園や学校を年間通して訪問。保育園では簡単な英会話やゲームを楽しんだり、小学校では母国の文化などの紹介により国際理解の推進を行った。また、生涯学習活動（教室、講座等）を通して活動・支援し、市民・各団体等の国際交流並びに理解の推進にも努めた。

◇国際交流イベントの開催

市内小学生を対象にハロウィン、クリスマス、イースターなどのイベントを通して、国際理解を深めた。

◇国際交流団体

市内の国際交流活動を行う7団体が相互の連携を図ることを目的に、能美市国際交流連絡協議会を結成し、市の事業にも協力しながら交流活動を推進した。

◇外国語講座の開催

英会話入門クラス、英会話初級クラス、ENGLISH ONLY CLASS、マークの国際交流サロンを開催した。また今年度新たに、市内に在住・在勤の外国人に対し、生活面での支援活動を行うことを目的に「日本語講師養成講座・日本語講師スキルアップ講座」を開催した。継続事業としてJ A I S Tの留学生やその家族を対象に「日本語教室」も行った。

評価

国際交流員の招致、国際交流イベントの開催、市内の国際交流団体間の交流、外国語に親しむ事業への取り組みなどを実施するとともに、市内在住又は在勤の外国人への支援の活動に新たに取り組み、能美理解、日本理解の機会を設けられたことは、「国際交流」の裾野をさらに広げる契機になったものと思われます。今後とも、様々な事業の実施により、多文化共生社会づくりを推進されますよう願っています。

2 生涯学習活動

平成22年度の主な取組

◇能美まなびフェスタ2011（575千円）

「広がれつながれ 人の和 能美の輪」をスローガンに、6分科会に分かれてテーマごとに意見交換を行った。

第1分科会

「実りある人生と楽しい読書」 ～読書は心のサプリメント～

第2分科会

「環境にやさしい能美の味くらべ・知恵比べ」

～地産地消の大切さを鍋料理をとおして考えよう～

第3分科会

あなた

「心の仮面をはずしてみませんか? ～いまひとつ子ども達の心が見えない男女へ～

第4分科会

「初めてでもすぐできるニュースポーツ」 ～見てみよう、さわってみよう、やってみよう～

第5分科会

「災害時、あなたはどう動くか!？」

～災害前、災害発生時、災害後の準備・対応はできていますか?～

第6分科会

「ふるさとの財を未来のこども達へ」 ～能美古墳群の活用を考えよう～

◇IT講習会（459千円）

前年度に多数の応募があったことを受け、3コースを2回ずつ、計6講座を開催した。
パソコン入門、WORD操作、EXCEL操作（各10回）

◇高齢者学級（280千円）

社会参加と生きがいある高齢期を目指して、年6回の講座を設定し、教養、健康福祉、生きがいづくり等の講座を開催した。

すこやか学級 テーマ「人生を楽しく すこやかに」 6回開催

すえひろ学級 テーマ「いきいき 楽しい人生を」 6回開催

はまなす学級 テーマ「生きがいと心の豊かさを求めて」 6回開催

◇人権教育（0千円）

私たちの心から、差別意識や偏見をなくすには、その痛みや悲しみを自分のこととしてとらえることが必要であり、身近なところで起こりうる「人権問題」について考える機会として、市民対象に人権映画鑑賞を開催した。単独での予算計上がないため、総合文化会館主催事業と合同で行った。

◇男女共同参画（183千円）

男女共同参画社会の実現を目指し、国の「男女共同参画社会基本法」及び「石川県男女共同参画推進条例」に基づき、「能美市男女共同参画推進条例」（平成23年3月17日公布）を制定した。

市から委嘱を受けた推進員が、市民への意識、啓発活動（ワークショップや出前講座など）を行っている。

・能美市男女共同参画推進委員会

推進員 27名（県推進員含む） 任期2年

評価

能美市総合計画によると、生涯学習の推進のための施策の展開方針において、施策目標として、「生きがいある人生を創造する学習の推進」を掲げ、「生涯学習機会の充実や施設間・組織間の連携強化を図り、子どもから高齢者までの多様なニーズに対応した生涯学習推進体制の確立を図る。」こととしています。

市民の生涯にわたる学習活動を支援することは、活力ある能美市を市民ぐるみで創っていくうえで、大きな役割を果たします。様々な学びや体験、交流等の場に自らの身を置くことで「住民」は「地域社会の担い手」として成長し発達することができます。

こうした取り組みの一つが、「広がれつながれ、人の和、能美の輪」をスローガンとした「能美まなびフェスタ」です。

人生と書、能美の味、子どもの心、ニュースポーツ、防災、能美古墳群などについて参加者が意見交換し、参加者同士がつながり、絆を深めることになったのではないのでしょうか。さらなる内容の充実を期待します。

また、IT講習、高齢者学級など住民の学習ニーズに応える機会の充実、人権教育や男女共同参画推進に係る事業の推進など今後とも取り組まれることを期待します。

3 公民館活動の推進

平成22年度の主な取組

◇成人式(1,482千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと共に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催した。

開催日 平成23年1月9日（日）10時から

会場・時間 根上総合文化会館 10時開式

寺井地区公民館 10時30分開式

辰口福祉会館 11時開式

出席 446人 ※対象者 531人

◇立志式（121千円）

中学2年生を対象に、自ら将来に臨んで志を立て、次代の社会を担うものとしての誇りと自覚、さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に持たせるために実施した。22年度は3中学校同時に開催した。また、「石川県移動美術館」の能美市開催に合わせて実施した。

日 時：平成23年2月15日（水）14：00～

会 場：根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

参加人数：根上地区 172名

寺井地区 202名

辰口地区 162名 計 538名

講 師：横山 利弘 氏（関西学院大学大学院文学研究科教授）

記念講演 テーマ「明日を生きる君たちへ」

◇総合文化祭（1,265千円）

〈展示部門〉

日 時 10月30日（土）～11月3日（水・祝）・7日（日）

会 場 根上総合文化会館、根上学習センター、寺井地区公民館、寺井図書館、辰口福祉会館

内 容 絵画、書など市文化協会作品をはじめ、地区公民館、CC館、児童館、そのほか各教室、サークルの作品を展示。

◇公民館活動(24,902千円)

○自治公民館

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
4月 8日	能美市自治公民館協議会 総会 講演会	根上総合文化会館
4月 15日	能美市自治公民館協議会 役員会	根上総合文化会館
5月 8日	能美市自治公民館協議会 役員会	クアハウス九谷
6月 19日	能美市自治公民館協議会 視察研修会	しいの木迎賓館他
9月 25日	能美市自治公民館協議会 役員会 男女参画	根上学習センター
10月 30日	第6回市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
11月 28日	能美市自治公民館協議会 研修会 懇親会	津幡町文化会館 辰口福祉会館
平成23年2月2日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月18日	根上地区自治公民館協議会 総会	八松苑（下ノ江町）
5月30日	第6回スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
6月6日～14日	花いっぱい運動	根上地区各所
6月27日	根上地区自治公民館協議会 視察研修	七尾市一本杉通り
7月24日	根上り七夕まつり「踊りの夕べ」コンクール	根上総合文化会館周辺
10月30日	第6回市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
12月16日	根上地区自治公民館協議会 館長会及び懇親会	うちだ食堂（浜町）

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月13日	寺井地区自治公民館協議会 館長会	八松苑（下ノ江町）
3月3日	寺井地区自治公民館協議会 総会	寺井地区公民館
6月27日	寺井地区自治公民館協議会 視察研修会	七尾市一本杉通り
9月3日	寺井地区自治公民館長・体育部長会	寺井地区公民館
10月3日	第6回 スポーツフェスティバル in てらい	寺井陸上競技場
12月22日	寺井地区自治公民館協議会 館長会	十久兵（三道山町）

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月12日	辰口地区自治公民館長会 総会	辰口福祉会館
6月27日	辰口地区自治公民館長会 視察研修会	富山・岐阜・愛知県方面
10月3日	第6回スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
12月11日	辰口地区自治公民館長会 研修会	辰口福祉会館

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
3月1日	根上地区スポーツ・文化協議会	根上総合文化会館
5月30日	第6回スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
4月22日	第1回寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
6月20日	寺井地区市民さわやかグラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
7月4日	三世代ふれあい子ども体験まつり	寺井地区公民館
7月11日	寺井地区クリーンデー	寺井地区一円
10月3日	第6回スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月12日	健康ジョキング教室 10/12～22	寺井小グラウンド
10月17日	寺井地区一周駅伝競走大会（中止）	寺井地区一円
10月17日	寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
10月24日	さわやかジョキング大会	和田山特設コース
11月21日	能美市文化講演会 講師 松井 昌雄 氏	寺井地区公民館
12月7日	第2回寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
6月26日	能美市でホテルを見よう！「ホテルの観察会」	灯台笹町公民館
7月10日	国際交流サロン in 能美2010	辰口福祉会館
8月19日	木工体験「鳥の巣箱を作ろう！」	博物館
10月3日	第6回スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
平成23年3月20日	体験教室 しいたけの植菌	博物館

評価

公民館は、地域における重要な学習の拠点であるとともに地域づくり等の活動の拠点としての機能の発揮が期待されるコミュニティの施設です。

地区公民館であれ、自治公民館であれ、限られた職員あるいは担当者での運営という困難さはあるかもしれませんが、公民館は、地域住民の「集い」「学び」「つながる」ための施設であると言っても過言ではありません。

地域の明日を創る「担い手」育てのために、公民館が持っている潜在的な「底力」を発揮し、活力ある能美市づくりに貢献されるよう期待します。

なお、成人式や立志式のような儀式は、人生という長い歩みの中での一つの「区切り」として、過去の自分を見つめ未来に向かっての自分を位置づけ直す契機となるものであり、その内容や在り方、企画への関係者の参画など実りあるものとするための工夫をしていただきたいと思います。

4 社会教育施設の運営

平成22年度の主な取組

◇市立図書館（128,925千円）

3館（根上、寺井、辰口）連携して、各図書館の運営方針に基づき、地域を支える情報、生涯学習の拠点としての図書館づくりをめざす。「2010国民読書年」として以下の事業を開催した。

- ・絵本対談、児童文学講演会、古典講座
- ・3図書館合同スタンプラリー
- ・各地域読書ボランティア団体の合同おはなし会
- ・図書館おいでおいでウィーク（7月）での原画展や古本市の開催

利用状況（平成22年度）

- ・蔵書数 359,974冊
- ・登録者数 37,036人

◇根上総合文化会館（78,960千円）

市における文化の振興を目的に、その情報発信基地として機能するための施設として様々な事業を行っている。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タント」では、市主催事業をはじめ様々な催し物が開催され、704席すべての客数へ迫力ある澄んだ音色を響かせる。

◇根上学習センター（52,670千円）

宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」、茶室「松海庵」、「国際交流サロン」のほか「根上図書館」を含めた様々な学習施設からなる生涯学習の複合施設として、幼児から高齢者までが集い、学習や交流を深めることを目的とする。

◇青年の家（27,700千円）

青少年やその他の団体の集団宿泊訓練や共同学習の場として、規律ある活動を通し健全有為な人間教育を図る施設として多くの方々に利用されている。主催事業として、12月と2月の2回、ジュニア・チャレンジャー合宿を実施した。

◇青少年ホーム（7,340千円）

各種講座やサークル活動の場として利用されている。「佐々木守メモリアルルーム」には郷土出身の脚本家佐々木守さんの蔵書や遺品が常設展示されている。

評価

図書館、総合文化会館、学習センター、青年の家、青少年ホーム等の施設は、それぞれの設置目的を持ち、果たすべき役割を負っています。多くの住民の利用に供する施設でもあるため、その利用率や稼働率の向上、魅力ある事業の推進にご尽力くださるようお願いしています。

施策第4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図る。

1 文化財の保存と活用

平成22年度の主な取組

◇文化財の保護事業

①史跡秋常山古墳群保存整備事業（120,829千円）

平成16年度から文化庁の史跡等総合活用整備推進事業の採択を受け、国指定史跡秋常山古墳群の保存整備事業を実施している。事業最終の当該年度は前方後円墳である1号墳の前方部西側、後円部最下段の修復工事を行い、1号墳と方墳である2号墳の墳丘周囲に園路、道標等を整備したほか、標柱、総合案内板、解説板、展示パネル、周辺地形模型を設置し、ガイダンス施設としての機能を整えた。また、発掘調査および整備事業の内容をまとめた報告書を刊行するとともに、来園者に向けたリーフレットも作成した。

②西山古墳群詳細分布調査（2,048千円）

能美古墳群のうち唯一未指定、未整備となっている西山古墳群を史跡として指定し保存を図るため、平成19年度から4ケ年計画で詳細分布調査を実施している。

平成21年度は西山中央尾根・西尾根・北尾根を調査範囲とした。

調査の結果、中央尾根では遺構、遺物は全く検出されず古墳の分布は無いことを確認した。

西尾根の21号墳では墳頂部の調査を行ったが、畑造成時の削平により埋葬施設は完全に消失していることが確認された。築造時期を示す遺物の出土も無かった。

北尾根では、尾根裾部の13号墳西側で直径15m程と想定される円墳を新たに確認した(西山25号墳)。出土遺物は無く、築造時期は不明である。13号墳墳頂部では、墳丘のほぼ中心部で南北約5m×東西2mの隅円方形の黒色土プランを検出し、埋葬施設墓坑と想定したが、サブトレンチによる掘り下げの結果、盛土であることが判明した。盗掘坑等は確認されず、埋葬施設はさらに下部に遺存しているものと想定される。20号墳墳頂部の調査では、地表から粘土片、河原石、土器、鉄鏃等を含む攪乱土が続く、80cm程の深さで西側に直径5cm以下の河原石が、東側で30cm大の河原石が集中して出土した。調査区が狭く、石積みの状況が明確に捉えられなかったことから断定的なことは言えないが、川原石積横穴式石室の可能性が考えられ、盗掘を受けた状況であることが想定される。

また、今年度は調査最終年度にあたることから、それまでの発掘調査成果をまとめた調査報告書を作成、刊行した。

◇埋蔵文化財保護調整事業

開発事業との調整	4件（文書による協議件数、但し略式協議は除く）
試掘調査	3件

評価

国指定史跡秋常山古墳群の保存整備、西山古墳群の分布調査など文化財の保全や調査は、歴史の流れの空白部分の解明や間隙を埋める側面を持つ学術的な取り組みです。

時には、時日を要さざるを得ない場合もあろうかと思われませんが、文化財は、当然に全市民の共有の財産であり、市にとっての「良きもの」「残すべきもの」です。その保全・継承・活用・広報に一層努められるとともに、市民の旧に倍する文化意識の高揚を図られるようお願いしています。

2 博物館の活動

◇展示・教育普及事業（1,717千円）

①展示事業

月	展覧名	開催期間		入館者
4	トキめき発見・能美の桜名所	4月11日(日)	4月18日(日)	842
5	野の道 はなの道 植物画展	4月21日(水)	4月29日(木)	667
5	カントリースタイル トール・イント 展	5月2日(日)	5月16日(日)	701
5	島崎好風「喜寿」書作品展	5月21日(金)	5月30日(日)	653
6	能美市絵画協会 辰口支部展	6月2日(水)	6月13日(日)	580
6	能美市美術作家協会 絵画部展	6月18日(金)	6月27日(日)	777
7	絵手紙石川の会 加賀地区展	7月4日(日)	7月11日(日)	490
7	夏季特別展示 上出慎也 イラストの仕事＋ いろいろ「時間散歩」	7月17日(土)	8月29日(日)	1,849
9	石川美術会 秋の小品展	9月1日(水)	9月12日(日)	505
9	井出行由写真展 タンチョウに魅せられて	9月15日(水)	10月3日(日)	972
10	辰口水墨画展	10月6日(水)	10月17日(日)	551
11	秋季特別展示 山本祥雲 横浜と九谷 輸出陶磁器と絵師の交流	10月30日(土)	11月28日(日)	1,124
12	原田純子デコアート倶楽部作品展	12月4日(土)	12月12日(日)	481
12	押し花倶楽部合同作品展	12月15日(水)	12月26日(日)	339

1	藤本能道銅版画 野鳥四季	1月 8日(土)	1月30日(日)	831
2	2010 能美写楽会が見た四季	2月13日(日)	2月27日(日)	500
3	聖句書道 展	3月 3日(木)	3月13日(日)	375

14,707人

②石川県移動美術展「名作と出会うひととき」

期 間：平成23年2月12日(土)～2月20日(日)

会 場：根上学習センター講堂

内 容：石川県立美術館所蔵作品の中から43点の展観

絵画20点 彫刻8点 工芸7点 浮世絵8点

入館者：2,690人 団体見学 30

③ふるさと講座「能美の原始・古代・中世」 対象：一般

回	期 日	テ ー マ	参加者
第1回	5月22日(土)	能美の旧石器時代 講師：田中 勲(能美郷土史の会)	22名
第2回	7月17日(土)	秋常山古墳の発掘成果 講師：菅原 雄一(能美郷土史の会)	36名
第3回	9月18日(土)	能美の墳墓に眠る大王一族の物語 講師：井上 博(能美郷土史の会)	23名
第4回	10月23日(土)	古代・中世における能美の人物 講師：宮本 茂(能美郷土史の会)	26名
第5回	11月27日(土)	郡家の庄(板津の庄) 講師：石川 友之(能美郷土史の会)	20名

④博物館講座・自然観察会・工作

期 日	テ ー マ	参加者
4月18日(日)	能美市の自然 お魚調査に参加して 講師：野澤 勇(博物館友の会会員)	60名
6月19日(土)から 毎月第3土曜日	能美の野鳥を楽しもう 講師：高 剋滋・高 文子(日本野鳥の会)	80名
6月26日(土)	能美市でホテルを観察しよう 講師：石川 卓弥(石川むしの会)	80名
8月 3日(火) ～ 4日(水)	一貫張りで器づくり 講師：上出 慎也(イラストレーター)	10名

8月8日(日)	作家・画家・編集者が語る 児童書「タイムチケット」ができるまで 藤江 じゅん (作家)・上出 慎也 (画家) 松本 徹 (編集者)	78名
8月12日(木)	親子で鳥の巣箱づくり 講師：辰口地区公民館長ら6名	20名
11月13日(土)	横浜・東京 明治の輸出陶磁器 講師：佐藤 登美子	48名
平成23年3月20日(日)	キノコの植菌 講師：里山ファン倶楽部会員ら6名	52名

⑤団体見学の受け入れ

学校教育・・・18(22)件 ()内は21年度の実績
福祉関連・・・43(40)件
一 般・・・17(11)件

⑥高齢者の回想法キット「思い出箱」の貸し出し開始(11月初旬～3月初旬)

福祉施設の高齢者が団体見学できない冬場に限り、民具や写真の貸し出しを実施。
ボニジュール根上苑、陽翠の里、デイサービス能美 など8件

⑦博物館友の会の活動

- ・ボランティア
のみでん桜フェスティバル(10名)、蟹淵目視観察(47名)、移動美術展巡視(32名)
- ・研修旅行
春季研修(渡岸寺、佐川美術館)、秋季研修(大和文華館、正倉院展)
富山県水墨画美術館見学「江戸伝承版木による北斎漫画と富嶽三十六景展」

⑧辰口保育園の博物館の日(毎月)

ハッチョウトンボなどの観察、紙飛行機づくり、雪でアイスづくり 博物館見学 他

◇調査・収集記録事業(719千円)

①生物生息調査

- ・根上地区・寺井地区昆虫調査 のべ37日
- ・報告書「能美市さかな図鑑」の刊行

②新収集資料

寄贈 山本 衛(能美市中町) 加賀舞子遺跡採集弥生土器 12点
ほか リヤカーなど民具、辰口温泉街写真(大正)、寺井駅時刻表など記録類

③博物館実習生の受け入れ

期 間：10月21日（木）～29日（金）

内 容：「山本祥雲 横浜と九谷 輸出陶磁器と絵師の交流」の準備を中心に

◇のみでん広場の活用（97千円）

のみでん桜フェスティバル開催

期 日：4月11日（日）

内 容：かつて市民の足となって活躍した「能美電」を顕彰するとともに、子どもたちのふるさと教育の題材として、三世代にわたって交流することができるフェスティバル開催。

内容は、ステージとして、保育園児の縄文土器太鼓の演奏など4ステージ。桜並木を歩く「のみでんウォーキング」、模擬店として、青空市のほか、能美電桜弁当の限定販売、山近剛画トキの盃限定販売。

評価

博物館は、公民館や図書館とは異なった形で、地域住民に社会教育的影響を与える教育の機関です。年間を通じて、展示、講座、観察会、友の会活動、調査研究活動などに取り組んでおられますが、地域住民の学びの成果を発表する機会を提供したり、講師として協力していただく参加型の企画など、今後とも創意あふれる事業の展開を望みます。

3 文化振興

平成22年度の主な取組

◇第19回能美川柳大会兼第17回市民川柳大会（1,190千円）

日 時 7月10日（土）

会 場 能美市根上総合文化会館 音楽ホール「タント」

内 容 第19回NHK学園生涯学習フェスティバル能美川柳大会
第17回市民川柳大会（小学生・中学生・一般の部の3部門）

◇文化連盟・協会（4,977千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、相提携して文化向上に寄与することを目的とする。加盟団体は計37団体。

◇民俗芸能保存伝承（800千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世代間交流の回復に寄与することを目的とする。保存会は計15団体。

評価

長い歴史と伝統の継承により広がっている能美市の川柳大会は、川柳の魅力を市の内外へと発信し、「川柳のまち能美市」を全国へアピールするものとなっています。併せて、郷土芸能の保存伝承にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。

施策5 生涯スポーツの推進

市民のスポーツに対する認識に応じて、障がいをもたれた方も含む市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった、一生涯スポーツに親しんでいくという生涯スポーツの振興を図るために、誰もがスポーツやレクリエーションなどの運動に親しむことができる安全で効果的に活動できるスポーツの環境づくりの充実に積極的に進める。

1 競技スポーツの充実・強化

平成22年度の主な取組

◇県民体育大会への選手派遣（3, 119千円）

小松市を主会場に南加賀地区で開催された県民のスポーツの祭典である「石川県民体育大会」に能美市を代表して参加する選手を派遣し上位入賞するための補助を行った。

◇能美市民体育大会（1, 362千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘と育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設を利用して開催され、今年度は22競技が開催された。

◇全日本競歩能美大会（10, 265千円）

今回から従来のアジア陸連20km競歩選手権大会に代わりアジア陸上競技選手権大会20km競歩としてアジアトップの大会に変更となったほか、第13回世界陸上競技選手権大会代表選手選考競技会、第5回日本学生20km競歩選手権大会のほか、第26回ユニバーシアード競技大会（2011/深圳）代表選手選考競技会も兼ね、中学生男女を含め、8部門計324名の選手のエントリーのもと35回目の大会が開催され、その運営補助を行った。

日 時 平成23年3月13日（日）

会 場 能美市営20km公認（2km周回）コース

◇全国銃剣道能美大会（1, 200千円）

今回は54回目となる大会で、全国37都道府県から165チームが参加して開催した。

日 時 平成22年6月13日（日）

会 場 寺井体育館

評価

県民体育大会や市民体育大会は、スポーツ活動に携わる方にとって、日頃行っている練習の成果を発揮する機会です。大会への参加や開催に向けた支援は、選手層の拡がりやスポーツの普及や振興に寄与する面もあることから、今後とも継続的な取り組みを求めたいと思います。

また、全日本競歩大会、銃剣道大会は、能美市にしっかりと定着した大会です。

2 生涯スポーツの普及・振興

平成22年度の主な取組

◇ジュニアスポーツクラブ活動（5, 234千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び底辺の拡大を図るため、市内47クラブの活動を支援している。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るためのリーダー研修や親子ふれあい事業の開催、指導力の向上を目的に指導者研修会を開催し、クラブ全体の円滑な運営を図っている。

◇高齢者健康クラブ活動（1, 106千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内3クラブ約200名の高齢者が3会場に分かれ、ダンスや体操を行っている。県の交歓大会や普及育成会等に参加する等、3クラブはもとより市外の高齢者クラブとも交流を図っている。

◇スポーツ教室「からだバランス塾」（5, 120千円）

スポーツを定期的実施する機会を提供し、スポーツをライフスタイルに取り入れることにより、体力の向上、精神的ストレスの発散や生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康保持増進を図ることを目的として、エアロビクス、ヨガやサルサダンスなど様々な教室を前期後期に分け一年を通したプログラム実施している。

前期（4月～9月）12教室 延べ308名参加

後期（10月～3月）12教室 延べ382名参加

評価

子どもから高齢者にいたる多くの市民が、生涯にわたって自分なりに親しむことのできるスポーツを持つことができることは、生きがいづくりや健康・体力づくりにつながるものです。

ジュニアスポーツクラブの交流促進、研修会開催等への支援、高齢者健康クラブ活動への支援、さらにはスポーツ教室「からだバランス塾」の通年での開催など、今後とも生涯スポーツの普及・振興にさらに取り組みされるよう願っています。

3 スポーツ施設の整備充実

平成22年度の主な取組

◇根上翠ヶ丘管理棟改修工事

- ・屋根改修工 A=390.0 m² ・軒裏補修工 A=149.0 m²
- ・外壁補修工 N=一式 ・内部改修工 N=一式 ・RC耐震補強壁新設 N=一式

◇能美市立福岡小学校運動場夜間照明改修工事

- ・夜間照明設備改修工 N=一式 ・球替工 N=53個

◇能美市物見山野球場バックネット塗装工事

- ・バックネット塗装（鉄骨部）19.3 m² ・バックネット塗装（金網部）222.0 m²
- ・バックネット塗装（鉄骨細巾物）345.0m ・手摺部分 211.0m

◇能美市物見山運動公園外灯取替工事

- ・100W外灯取替 8箇所 ・250W外灯取替 3箇所

◇泉台スポーツセンター照明制御設備改修工事

- ・照明制御設備分電盤改修工 一式 ・球替工 37箇所 ・点灯回路変更工 一式

◇その他 8件の工事を実施

◎工事関係総経費（30,997千円）

評価

スポーツに親しむことのできる施設設備の安全の確保、利便性の向上などのための耐震化、照明設備の改修など、利用者の期待に即応した設備の充実に努められるよう期待します。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1. 教育委員会会議

12回開催（開催日及び審議決定事項 次頁）

{ 議案 19件 }

2 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

月 日	内 容
H22. 4. 1	事務局職員辞令伝達式
H22. 4. 5	市内小学校・中学校入学式
H22. 4. 7	転入教職員辞令交付式並びに着任式
H22. 5. 7	石川県市町教育委員会連合会総会
H22. 6. 4	第6回市民体育大会総合開会式
H22. 6. 13	第54回全国銃剣道能美大会
H22. 7. 10	NHK学園能美川柳大会・市民川柳大会
H22. 7. 17	根上グリーンビーチ海開き
H22. 7. 23	石川県市町教育委員会セミナー
H22. 7. 26	県民体育大会夏季大会・能美市結団式
H22. 8. 22	いん石落下15周年記念講演
H22. 8. 26～ 8. 27	市制5周年記念教職員夏季研修「教育フォーラム」
H22. 9. 1～ 9. 7	ふれあいあいさつデー強化月間
H22. 10. 9～10. 11	ねんりんピック石川ラグビーフットボール交流大会
H22. 10. 22	石川県教育委員会連合会研究大会
H22. 10. 30～11. 3	能美市文化祭
H22. 11. 7	能美市ジュニア文化発表会
H22. 11. 8	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会
H22. 11. 21	能美市文化講演会
H22. 11. 18～11. 22	マイスターウィーク 子どもマイスター賞受賞式
H23. 1. 9	能美市成人式
H23. 2. 15	立志式
H23. 2. 28	能美まなびフェスタ2011
H23. 3. 11	根上中学校・寺井中学校卒業式
H23. 3. 12	辰口中学校卒業式
H23. 3. 13	第35回全日本競歩能美大会
H23. 3. 18	市内小学校卒業式

平成22年度教育委員会議開催状況

回（開催日）	審 議 決 定 事 項	
平成22年第5回 (H22. 4. 22)	議案第6号 報告第1号 報告第2号 報告第3号	能美市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 能美市教育行政の基本方針について 教育委員会事務局各課事務分担について 各課報告事項
平成22年第6回 (H22. 5. 10)	議案第7号 報告第1号 報告第2号	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 「能美市男女共同参画プラン」の教育委員会への答申について 各課報告事項
平成22年第7回 (H22. 6. 23)	議案第8号 報告第1号	平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 各課報告事項 ・平成22年度能美市一般会計補正予算について ・加賀地区中学校体育大会の結果について ・石川県中学校体育大会（出場一覧）について ・第54回 全国銃剣道能美大会の成績報告 ・第2回 市民綱引き大会の成績報告について
平成22年第8回 (H22. 7. 14)	議案第9号 議案第10号 報告第1号	平成22年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について 平成23年度小学校教科書等の採択について 各課報告事項 ・平成22年度学校教育懇談会の日程について ・第62回石川県体育大会の応援等について ・能美市民川柳大会及びNHK学園川柳大会の結果について ・JAPANTENT i n能美について
平成22年第9回 (H22. 8. 20)	議案第11号 議案第12号 報告第1号	平成22年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について 平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 各課報告事項 ・石川県体育大会の成績報告について

<p>平成22年第10回 (H22. 9. 24)</p>	<p>議案第13号 平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告第1号 各課報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川縣市町教育委員会連合会研究大会について ・学校訪問計画・研究発表会について ・能美中学校新人体育大会について ・スポーツフェスティバルinてらい。inたつのくちについて ・能美市文化祭について ・寺井地区公民館主催事業について ・スポーツ講習会、わくわくスポーツ講習会について ・ねんりんピック石川2010ラクビーフットボールリハーサル大会について
<p>平成22年第11回 (H22. 10. 27)</p>	<p>報告第1号 各課報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもマイスターウイークについて ・スポーツ行事について ・能美市総合文化祭について
<p>平成22年第12回 (H22. 11. 22)</p>	<p>議案第14号 平成22年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第15号 平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告第1号 各課報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもマイスター賞結果報告について ・石川縣市町対抗ふるさと駅伝大会について ・歳末助け合い入札展について
<p>平成22年第13回 (H22. 12. 14)</p>	<p>報告第1号 能美市教育委員会の点検と評価について</p> <p>報告第2号 各課報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式について ・能美まなびフェスタ2010の開催について ・歳末助け合い入札展について ・スポーツ大会の報告及びスポーツ教室、大会の開催について

<p>平成23年第1回 (H23. 1. 19)</p>	<p>議案第1号 平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第2号 平成22年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>報告第1号 各課報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能美市根上青年の家条例の一部を改正する条例について ・能美市成人式の結果について ・能美市立志式について ・平成22年度石川県移動美術展開催について ・スポーツ室事業関係
<p>平成23年第2回 (H23. 2. 15)</p>	<p>議案第3号 平成23年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>議案第4号 平成22年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第5号 平成22年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告第1号 各課報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能美市立小学校・中学校の卒業式について ・能美まなびフェスタ2011について ・全日本競歩能美大会 ・スポーツ大会について
<p>平成23年第3回 (H23. 3. 22)</p>	<p>選挙第1号 能美市教育委員会委員長の選挙について</p> <p>議案第6号 能美市教育委員会委員長職務代理者の指定について</p> <p>議案第7号 能美市学校医の補充の選任について</p> <p>議案第8号 能美市育英資金貸与条例施行規則及び能美市北陸先端科学技術大学院大学奨学金貸与規則の取り扱いに関する要綱について</p> <p>議案第9号 能美市立小中学校管理職の異動内申について</p> <p>報告第1号 各課報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度入学式の日程について ・生涯学習課主要事業実施予定表について ・スポーツ課事業報告及び予定について

評価

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律上、およそ教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会であり、定例会や臨時会において決すべき議案も多岐にわたるものと思量します。

能美市の教育活動のさらなる活性化、まちとしての能美市の魅力の掘り起こしや発信に資するような教育事業の展開に大きな役割の発揮を期待しています。